

研究課題：小児くも膜嚢胞の病態に関する研究

1. 研究の目的

私たちは「くも膜嚢胞（のうほう）」という病気について調べる研究を行っています。くも膜嚢胞とは、生まれつき頭の中（脳のまわり）にできる袋のような構造のことです。これは頭の中にできる「できもの（病変）」のうちの約1%を占めるとされており、特に子どもに見つかることが多い病気です。症状がまったく出ず、たまたま検査で見つかることもあります。治療が必要になるかどうかは人によって異なり、手術をする場合もあれば、経過を見守るだけのこともあります。しかし、この病気がどのように進んでいくか（自然の経過）については、まだはっきりわかっていません。また、手術をするかどうかや、その方法についても、医師や病院によって考え方が異なるのが現状です。この研究では、くも膜嚢胞と診断され、治療を受けた方（手術を受けた方、または手術をせずに経過をみた方）の診療記録をもとに、病気の特徴や治療の流れ、治療後の経過について詳しく調べます。これにより、今後の診断や治療方針の参考にすることを目指しています。

2. 研究の方法

1996年4月から2025年3月までに外傷性小脳挫傷と診断され治療を行った患者様が対象となります。診療録から診療データを匿名化した上で情報を調べまとめます。

3. 研究期間

2025年5月（倫理委員会で承認を得られた日）から2026年3月まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録の記載から、年齢、性別、既往歴、合併症、臨床症状、画像検査結果、血液検査結果、治療内容、転帰を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：脳神経外科 医長 宇佐美 憲一

研究分担者：脳神経外科 科長 栗原 淳

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年8月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

脳神経外科 医長 宇佐美 憲一

医事担当（代表 048-601-2200）